

令和 8 年度 日本水産増殖学会シンポジウム

日時：2026 年 11 月 28 日（土）

場所：九州大学西新プラザ

「水産増養殖技術の高度化と社会実装：さらなる展開に向けて」

9:00- 9:05 開会挨拶・趣旨説明

太田耕平（九州大学）

9:05- 9:25 マサバ養殖の現状と課題

長野直樹（宮崎大学）

9:25- 9:45 シルクタンパク質を利用した魚類への経口デリバリー法の開発

柚本智軌（九州大学）

9:45- 10:05 守るトレーサビリティから、価値を生み出すトレーサビリティへ

眞次一満（九州産業大学）

10:05- 10:15 休憩

10:15- 10:35 水産増養殖を支える次世代脂質資源の創出：ラビリントウ類を用いた
多価不飽和脂肪酸の自在生産

石橋洋平（九州大学）

10:35- 10:55 種の保存法指定種セボシタビラの人工繁殖と再導入

鬼倉徳雄（九州大学）

10:55- 11:10 生殖研究が拓く、養殖マサバの品種開発と地域希少魚の保全

太田耕平（九州大学）

11:10- 11:20 総合討論・意見交換

11:25 閉会